

国立科学博物館の賛助会員制度について

国立科学博物館賛助会は、当館事業の趣旨にご賛同いただいた皆様(会員)から当該事業へ ご支援(会費)をいただく、1年単位の寄付会員制度です。個人会員と団体(法人)会員がございます。 ご支援により、青少年の自然科学等への興味・関心の向上に関する事業、地域博物館等と連携したイベント、 標本資料の製作・購入・保存・修復等の事業を推進しております。

今後もより多くの方にご賛同いただきたく、引き続きご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



『賛助会制度が一部新しくなりました』

- 入会後、最初の基準月(5月もしくは11月)から1年間が会員期間となります
 - 毎年同じ月に更新できるようになり、更新時期がわかりやすくなりました。 ※年間を通じて新規入会していただけます。
- 施設貸与料金の割引(個人プラチナ会員、団体シルバー会員以上)

国立科学博物館上野本館の施設貸出を割引料金でご利用いただけます。 学会等の講演会やレセプションの他、音楽演奏会、結婚式など様々な用途にご利用可能です。

賛助会員入会による特典を、寄付 (会費) を支払った方が親せきや友人など別の方へプレゼントできます。

このほか賛助会員に入会するとさまざまな特典があります。

- 常設展と付属施設への無料入館(入園)
- 特別展の招待券を進呈
- ミュージアムショップ・レストラン割引
- 賛助会員のつどいにおいて賛助会費による 活動の報告や特別展の見学会を実施 ※2021年度はオンラインで実施
- 希望により、賛助会員ご芳名板(右写真)、 当館のホームページへのお名前の掲載 ※会員区分によります



など

入会手続き・特典など、詳しくは、「賛助会員入会のご案内」、当館ホームページをご覧ください。

https://www.kahaku.go.jp/about/donation/patronage/index.html

お問合先:独立行政法人国立科学博物館 賛助会担当

電話番号: 03-3822-0111(月~金) メールアドレス: sanjyo@kahaku.go.jp





国立科学博物館

賛助会費を使った活動(2021年度)

2021年度におきまして、賛助会員の皆様にご支援をいただきました賛助会費により、様々な博物館活動を実施することができました。厚くお礼申し上げます。 ここに深く感謝の意を表しますとともに、活動内容の詳細をご報告させていただきます。



標本資料の製作・受入・保存・修復

- 大型哺乳類標本の受入
- ●動物園等で死亡した個体の標本化 多くの件数を受け入れ、
- また、製作することができました。







青少年の自然科学等への興味・関心の向上

植物園でSDGsを学ぶ学習プログラムの 開発に取り組みました。

オンラインで高校生を対象に、SDGs や植物多様性に ついての解説を行い、ワークシートを試行しました。



標本・資料の 製作・受入・保存・修復

標本・資料の製作

標本・資料の製作費として賛助会費を活用いたしました

動物園等で死亡した個体の輸送及び標本化約 100 点



アフリカゾウ全身骨格



ミナミオポッサムの本剥製

本年度も賛助会費のご寄付 によって、多くの動物園死亡 個体を当館で受け入れ、骨格 標本、剥製標本として作製す ることができました。

大きいものは 4 t のアフリ カゾウから、最小のものは2g のチビトガリネズミまで、非 常に多様な種類の哺乳類・鳥

類・爬虫類を当館で回収し、標本化を行いました。それらには、カバ、 キリン、グレビーシマウマ、アメリカバイソン等、標本の入手・作成が 容易でない大型種が多数含まれています。これらを全身骨格標本として 当館のコレクションに加え、今後多くの研究に役立てていきます。

写真のミナミオポッサムの本剥製も賛助会費を活用して製作すること ができました。この種はこれまでに当館のコレクションにはなかったも のです。この剥製標本は、今後企画展や特別展で活用する予定です。

貴重標本・資料の収集

標本・資料の充実のため、標本・資料受入費用として賛助会費を活用いたしました

◆ 浅井俊保コレクション 30 点



カバ頭部剥製

カーマハーテビースト本剥製

30点の大型哺乳類標本からなるコレク ションの受け入れを行いました。

うち 13 点が大型獣の全身剥製、15 点が頭 部剥製、2点がアフリカゾウ頭蓋・足など部 分標本からなる貴重なコレクションです。

特にインパラの雌個体の全身本剥製やカ バの頭部剥製は、これまで当館の収蔵品に なかったものです。また、ヘラジカ・セー ブルアンテロープ・カーマハーテビースト などの剥製は常設展示中のものしかありま せんでしたが、今回の受け入れにより企画 展等でも使用できるようになりました。ま た国内の博物館からの希望に応じて無償貸 し出しに応じていきたいと思います。

青少年の自然科学等への 興味・関心の向上

青少年の自然科学等への興味・関心の向上のために賛助会費を活用いたしました

高校生に向けてSDGsについて解説



カカオに関するワークシート



オンライン授業の際の様子



SDGsの解説webサイト(改訂中)



カカオに関する解説板

筑波実験植物園にて、植物を通じて SDGs を学ぶ学習プログラム開発に取り組み始めました。 普段利用する品物が、どの植物からつくられているかは知っていても、どのようにつくられて いるか、そのプロセスはあまり知られていません。

そのプロセスを学ぶことで、背景にある社会問題、環境問題が見えてきます。

本年度はカカオをテーマに、カカオからチョコレートができるまでのプロセスと、その背景に あるさまざまな問題を学ぶワークシート、解説板、Web サイトを制作し、実際に高校生を対象 にオンライン授業を行い、ワークシートを試行しました。



コロナ禍という特殊な状況が続く中にもかかわらず、皆様 にご支援をいただきましたおかげで、様々な博物館活動を実 施することができました。

しばらく厳しい状況が続くと思われますが、充実した博物 館活動につながるように努力してまいります。引き続き多く の皆様にご協力、応援いただけますと幸いです。

国立科学博物館 賛助会担当